

県議会  
6月定例会

# 新型コロナウイルス対策に59億円、物価高騰対策に3億円 約62億円の一般会計補正予算等を可決して閉会

民報  
おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢字久田 62  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

請願採決

岩手県議会6月定例会は、6月21日から7月5日までの会期で開催され、新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰等への対策として約62億円の補正予算が可決され、閉会しました。

補正予算の主なものを紹介します。

【バス事業者運行支援交付金】  
1億3千7百万円

乗合バス事業者を対象に、公共交通の安全・安定した運行の維持を支援するための交付金。

【感染症予防費】約1.3億円

感染拡大・高止まり時のPCR検査の集中的な実施等に要する経費について補正する。

【新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費】  
約1.1億円

4回目接種に対応するため、県の集団接種に要する経費及び休日等に行われる集団接種に医療従事者を派遣する医療機関や個別接種に係る診療所等に對する支援の経費を増額する。



【いわて県民応援プレミアムポイント還元事業費】  
1.1億円

県内の小売・サービス業等の店舗において、商品・サービス等をQRコード決済により、購入・利用した方に決済額の20%分のポイントを支給し消費を喚起する。

【物価高騰対策支援費】  
1.1億2千6百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少し、物価高騰により費用が増加している中小企業者に対して、1事業者当たり最大20万円の物価高騰対策支援金を支給する。

【中小企業等復旧・復興支援事業費】3億5千万円

令和4年3月の福島県沖地震により被害を受けた中小企業等で構成するグループが行う施設復旧等に要する経費への補助。

防衛費を対GDP比2%以上に  
大幅増額することに対する請願  
22票対23票(一票差)で否決

6月県議会には、県民の皆さんからの切実な請願が提出され、日本共産党議員団もその多くの紹介議員となっています。中でも、「防衛費を対GDP比2%以上に大幅増額することに対する反対する請願」(憲法改悪反対岩手県共同センター代表 佐々木良博さんほか提出)は、岸田政権が米国等の求めに応じて、「今年6月7日、防衛力を5年以内に抜本的に強化する」内容を含む「経済財政運営と改革の基本方針2022」(いわゆる骨太2022)を閣議決定したこと。さらに、防衛費がGDP比2%以上となれば、

は、「不採択」となり最終日に議会に報告されました。本会議では千田美津子県議が「採択すべき」との立場で討論を行いました。採決の結果、22対23の1票差で否決されました。奥州選出の5人の県議は、いずれも採択すべきとの立場で採決に加わりました。

【配合飼料価格安定緊急対策費補助】約2億9千万円

配合飼料価格の高騰に伴う畜産経営体への影響を緩和するため、配合飼料購入費の価格上昇分に對しての補助。



## 「学校給食費-物価高騰分の値上げはしない！」等の成果 ……日本共産党市議団の申し入れに対し

日本共産党市議団として6月1日に市長に対し実施した「原油価格・物価高騰等への対応を求める申し入れ」に対する回答が7月1日付で届きました。回答書によると、今回の申し入れによって早速今年度から実現される項目が下記の通りとなりました。

### ●子育て世帯への臨時特別給付事業

…県の給付範囲は中学生以下ですが、市独自で高校生まで給付するものです。県の給付金に市として1万5000円の上乗せで実施します。

### ●学校給食費物価高騰対策事業

…物価高騰下にあっても学校給食の質を確保するため、子育て世帯への負担軽減策として不足する賄材料費を補填する。



### ●不安を感じる市民へのPCR検査は7月末まで延長されました。

